

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【さわやかマナーアップあいさつ運動】	6年生の学級活動で、一人一人がさわやかに挨拶することができ、マナーが向上するためにはどうすればよいか話し合いがあった。それを生徒会企画として全校で、『さわやかマナーアップ運動』を行うことにした。校舎内ですれ違う人との挨拶の他に、2日間、スクールバスの停留所になっている、日立駅前、市役所前、中里小中昇降口前であいさつ運動を行った。 成果 校舎内のあちこちから元気な挨拶が聞かれるようになった。校外でのあいさつ運動は荒天のため1日だけになってしまったが、通勤、通学途中の知らない人にも元気に挨拶ができた。 課題 あいさつ運動期間は、大きな声で挨拶できていたが、徐々に挨拶する児童生徒の数が減ってきている。いつでも、誰にでも気持ちの良い挨拶が継続してできるようになることが大切だと感じた。
2 実践2 【7年生人権教室】	日立市人権擁護委員の方を講師としてお招きし、人権教室を行った。「リスペクト・アザース」(DVD)を観て、友達をリスペクトすることとはどういうことなのかを考え、それぞれの考えや感じたことを発表した。 成果 主人公の心の変化を考えることで、リスペクトとは、人と違うことがその人の個性で、違う点だけでなくうまくいったこと、できなくても努力していることなどを尊重し合うことである。自分も周りの友達をリスペクトできる人でありたいと考えられるようになった。 課題 相手の考えやあり方を尊重するということは大切だとわかっていても、自分の考えを押しつけてしまい、トラブルになることがある。今後も継続して、学級活動や日頃の生活の中で、話し合ったり、考えたりすることが必要だろうと思う。